

令和5年度の重点課題

○情意面

・運動やスポーツをすることが好きですかの項目の「やや嫌い」と回答した児童の割合が男子約5%、女子約21%であった。（令和4年度より、男女ともに増加している。）

○体力面

・男子において、「反復横跳び」「ボール投げ」の平均値が県や全国の平均値に比べると低い。
 ・女子において、「握力」「上体起こし」「反復横跳び」「50m走」「立ち幅跳び」の平均値が県や全国の平均値と比べると低い。
 ・男女共通して、「反復横跳び」の記録に課題がある。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

- 体育科の授業づくりの工夫
 - ・体育科の授業始めに、鬼遊びを行うことで、反復横跳びの記録の向上につなげた。
 - ・運動量を確保できるようにするために、活動の場やルールづくりを工夫した。
 - ・個人の技能に応じた練習ができる場の設定をした。
 - ・ICTを活用し、正しい動きを確認したり、児童自らの動きを確認したりすることのできる場を設けた。
- 休憩時間の外遊びの奨励
 - ・ロング休憩・・・月に1回休憩時間を35分間設定し、全員外で遊ぶ機会を設けた。
 - ・アクティブ・チャイルド・プログラムに記載された遊びについて各学級で紹介し、児童の多様な動きの獲得につなげた。
- 保健体育委員会主催の体育的活動の実施
 - ・体力を高める運動を取り入れた四季っ子体操を朝の時間に継続的に行った。
- 家庭学習
 - ・冬休みに縄跳びカードなどの児童が自分で体を動かせる宿題に取り組んだ。
- 職員研修
 - ・校内で体育科の授業づくりについての実践交流を行い、各担任の授業づくりに生かした。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.61	20.43	29.17	45.35	53.09	9.24	166.00	25.35	56.00	第5学年	14.19	18.81	38.38	41.92	33.60	9.81	153.50	12.92	55.08

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.61	20.43	29.17	45.35	53.09	9.24	166.00	25.35	56.00	第5学年	14.19	18.81	38.38	41.92	33.60	9.81	153.50	12.92	55.08

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	69.57	30.43	0.00	0.00	第5学年	69.23	30.77	0.00	0.00

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・単元に応じて、鉄棒や肋木にぶら下がる運動を取り入れることで、児童の握力の向上につなげる。
- ・児童に運動ができる喜びを味わわせるために、個に応じた活動の場を設けたり、ICTを活用し、児童自身の動きを確認したり、正しい動きと比較したりする機会を設け、各単元の運動技能の向上につなげる。
- ・単元ごとに、活動の流れを決め、児童と共有することで、指示や説明の時間を減らし、運動量の確保につなげる。

体育の授業以外で行う取組内容

- 休憩時間の外遊びの奨励
 - ・児童に簡単な運動遊びを紹介したり、教師と一緒に遊んだりすることで、楽しく運動する機会を確保し、運動が好きな児童の割合を増やす。
 - ・ロング休憩を月に一度行い、35分間外で遊ぶことができるようにする。
- 家庭連携
 - ・冬季休業中に、縄跳びカードに取り組み、体力全般を向上させることができるようにする。
- 職員研修
 - ・校内で、器械運動系の単元についての安全面の研修を行い、授業中の児童の怪我を減らす。

令和7年度の
重点目標値

- 「運動することは好きですか」という質問について、肯定的に回答する児童の割合を毎年85%以上にする。
- 「握力」の記録を春と冬と比較して、80%以上の児童が向上することを目指す。